

25春闘行動

4.15千代田総行動を実施

物価高超える大幅賃上げ、最賃1500円以上に、
社会保障の拡充、消費税減税、労働法制解体反対、
大軍拡・大増税・戦争反対
暮らし、雇用、いのち、平和を守り、連帯と労働組合の力で
25春闘要求前進をめざす4.15千代田総行動

区内6駅頭で早朝宣伝 3100枚配布

4月15日、千代田区春闘共闘は、早朝から、「物価高超える大幅賃上げ、最賃1500円以上に、社会保障の拡充、消費税減税、労働法制解体反対、大軍拡・大増税・戦争反対で暮らし、雇用、いのち、平和を守り、連帯と労働組合の力で25春闘要求前進」を掲げて4.15千代田総行動を実施しました。

朝8時から9時半の間で総行動チラシ(見出し:中小企業への賃上げ支援を 物価高超える大幅賃上げ、最賃1500円以上に、社会保障の拡充、消費税減税 労働法制解



小川町駅前での宣伝 全国一般東京地本の方々

働法制解

体反対、大軍拡・大増税・戦争反対、25春闘要求前進を)と大軍拡・大増税反対のチラシを神田駅、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅、小川町駅の区内6駅頭で22人の参加で合計3100枚を配布しました。早朝、天気が心配されましたが、晴れて、駅利用者にはティッシュに入れたチラシを受け取ってもらいました。

本の街神保町を昼休みデモ

「物価高上回る賃上げと最低賃金引上げ」「消費税減税」「労働法制解体反対」「大軍拡・大増税・戦争反対」等を掲げて

昼休みには、神保町昼休みデモを MIC(日本マスコミ文化情報労組共闘会議)と千代田区春闘共闘で行いました。



神保町昼休みデモ



要求を掲げて行進

た外部の指摘や批判に真摯に耳を傾けるべきだ。声を上げていこう。25春闘の後半戦だ。トランプ関税のもとで国内産業にも大きな影響があり、守られなければならない。印刷産業も市場規模が 30 年前の半分になっている。物価高で経営が大変、価格転嫁も進んでいない。働く労働者も生活が苦しい。こうした状況の中で労働組合が求められている。頑張っていこう」と挨拶。

千代田区春闘共闘・茂呂議長は、「千代田区春闘共闘は、25 春闘要求、物価高を上回る大幅賃上げ、労基法解体反対などを掲げて今日一行動を行っている。本当に物価高で大変だ。カレーライスの物価指数がある、去年の同時期に比べると 70 円位上がっている。コメが 2 倍に上がっているのが影響している。値上げはまだまだ続く。国の政策はどうなっているのか。物価高対策は今年度予算に入れておくべきだったが、最近になってようやく議論されている。現金給付ではなく消費税減税が必要だ。トランプ関税の影響でアメリカと交渉するが、言われるままではだめだ。アメリカに言われて、軍事費もこれまでの 2 倍になった。軍拡予算を国民の暮らしに回してほしい。労働組合として声を上げていきたい。大企業がこの 30 年間にため込んだ内部留保を吐き出させて、賃上げに回させることが極めて重要」と挨拶。

神保町昼休みデモは、12 時 20 分に錦華公園を出発。靖国通り→神保町交差点→九段下俎橋児童遊園まで、宣伝カーからの訴え、シュプレヒコールを行い、参加者はプラカードを掲げて、元氣よく行進しました。参加者は、全体で 80 名でした。



要求を掲げて行進する参加者

AGC 本社前 解雇撤回求め抗議・要請・宣伝行動

相変わらず、要請に応じない、不誠実な AGC

14 時から、AGC 本社前(東京駅前新丸ビル)で、A さんの不当解雇撤回を求めて、抗議、要請、宣伝行動を行いました。



解雇撤回を求めて AGC 本社に向かってアピール

13 名で AGC に向けてアピールし、解雇撤回を訴え、チラシをまきました。AGC 本社前の訴えは、香取千代田区春闘共闘副議長の司会で進められました。

冒頭、千代田区春闘共闘議長茂呂は、「AGC 本社の要請にまたやってきた。AGC では、女性の解雇事件が起こっている。今裁判でたたかっていて、もうすぐ判決が出る。私たちは、何度も要請を行っている。要請書を渡そうとしているが、居留守を使って全く出てこない不誠実な

対応を取っている。日本を代表する企業なので、要請は受けてほしい。また、AGC の子会社の男女差別問題では、昨年判決が出て、改善されてきているが、本人に対して仕事はずしなどが起こっている。そうしたハラスメントに対して、子会社を指導してほしい。AGC ではグループでの行動基準を設けている。また、人権方針も掲げている。人権尊重をうたっているが、解雇や女性差別を未だに起こしている。方針に沿って解決するよう求めたい」と AGC に向けて訴えました。

千代田区労協の増淵常任幹事・ユニオンちよだの執行委員は、「4 年前 AGC から女性 A さんが、寮に押しかけられて、いきなり解雇された。AGC は、日本を代表し世界的にも有名な大企業だ。そうした大企業であるにもかかわらず、不当な解雇を撤回していない。私たちの要請書の受け取りも拒否している。こうしたことが平然と行われていることに驚愕する。AGC の子会社でも男女差別が行われている。そのことで、ジュネーブにある国連人権委員会に訴えた。AGC の男女差別が取り上げられた。AGC は、A さんの解雇を撤回し、復帰させろ!」と訴えました。

AGC に解雇された女性 A さんは、「いきなり解雇されて、それに納得がいかず現在裁判中だ。大学院を出て、AGC に入社した。その 9 年目に解雇された。十分に仕事を教えてもらえず、納得のいかない最低の評価を受けてきた。休職に追い込まれそうになったこともあり、前向きに対応することはしてもらえなかった。私は、解雇に納得がいかないので、辛いがずっとたたかっている。AGC は許せない。引き続きご支援を」と切実に力強く訴えました。

今回も、事前に連絡をしているにも関わらず、要請書を渡そうとしましたが、誰もいないということで、受け取ってもらえませんでした。こういう会社は、大企業の中でもほとんどないのではないのでしょうか。

最後に、千代田区労協副議長小番さんの音頭で、会社に向けて「AGC 本社は女性の解雇を撤回しろ!」とシュプレヒコールを行いました。

日本学術振興会の社前行動

パワハラによる雇止めを撤回しろ!

15時15分からは、独立行政法人日本学術振興会の社前で、「日本学術振興会は非正規職員 A さんへの雇止めを撤回せよ!!!と抗議、要請行動を行いました。

冒頭、**茂呂議長**は、日本学術振興会に対し、「非正規の A さんは、採用の時と違う条件で働かされていた。そのことを変えてほしいと訴えたところ、受け入れられず、本人の人権は踏みにじられ、ハラスメントを受けて、雇止めにされたものだ。人間の尊厳にかかわる問題として受け止め、私たちは支援している。雇止めの撤回を求める」と訴えました。

ユニオンちよだの鈴木委員長は、「A さんは、海外事業部国際課に配属されました。採用された際に聞いていた業務内容と実際の業務内容が異なっていたこと、「特任職員」と同一の業務を担当していたため、「事務補佐員」ではなく、「特任職員」として雇用して欲しいことを伝えたところ、それまでの

業務をすべて取り上げられ、水出し、文房具管理等の雑務を強いられました。また、メールのccから外されたり、理不尽な叱責を受けたり、事実と異なる理由で年度末に最低評価を受けたりなど、人としての尊厳にかかわる不当な取り扱いを受けました。そのことでハラスメント窓口に相談したところ、配転させられ、主な業務から外されました。これは報復ではないでしょうか。最終的には更新期間を残したまま、雇止め通告を受けるというひどいものです。団体交渉中であつたにも関わらず、組合を通さず、本人に雇い止め通告をしたことは不当労働行為です。

労基法・人権無視の雇止めは許されません。私たちは、日本学術振興会が不当な雇止めを撤回するまでたたかいます」と訴えました。

ユニオンちよだ執行委員・区労協常任幹事の増淵さんは、「日本学術振興会で、3 月末に、非正規の A さんが雇止めにされている。ハラスメントを行い、仕事を奪い、A さんを雇止めにしたことは許されない。私たちは、団体交渉を重ねてきたが、日本学術振興会は、真しにこの問題に向き合おうとしていない。私たちが具体的な解決案を示しても十分に検討もしない。不誠実な態度に終始している。日本学術振興会は、人間の心があるなら A さんに謝罪し職場に戻せ！ 争議を解決しろ！」と気合いを込めて訴えました。

そして、日本学術振興会の役員が、玄関前に下りてきたので、そこで要請書を読み上げて渡しました。

また、都労委のあっせん交渉を受けるのかどうか、回答していなので、するよう強く求めました。

最後に、千代田区労協副議長小番さんの音頭で、会社に向けてシュプレヒコールを行いました。



日本学術振興会社前で雇止め撤回を求めてアピール

総行動の最後は、お茶の水駅で

「今すぐ消費税減税」「軍拡・大増税反対」で宣伝行動

16 時 10 分からは、お茶の水駅前で、10 人が参加し、今すぐ消費税減税、インボイス廃止、大軍拡・大増税反対で宣伝行動を行いました。

訴えの内容は以下の通りです。

「消費税が導入されてから 36 年がたちます。1989 年に税率 3% で導入された消費税は、10% まで引き上

げられてきました。暮らしや商売、地域経済を痛めつけてきた消費税は減税、廃止すべきです。

消費税は所得税と法人税の減税を強く求めてきた財界・日本経団連の要望にこたえる形で導入されました。消費税が5%、8%、10%と引き上げられるたび、法人税は引き下げられ、88年に42%だった法人税は現在23.2%になっています。その結果、資本金1億円超の大企業の税負担は大幅に軽減され、内部留保は88年の58.7兆円から2023年までに394.4兆円へと増加しました。

大企業が約7倍に内部留保を増やす一方、国民の世帯所得中央値は88年の453万円から405万円へと1割以上減少しました。国の借金である国債の発行残高は1317兆円超と36年間で10倍近くに膨らみました。大企業から多額の献金を受け続けてきた政府・自民党が歪んだ税制をつくり、日本全体の活力を奪ってきたことは明らかです。

政府は「消費税は社会保障財源」だからと説明しますが、この36年で社会保障は改悪の連続です。病院の窓口負担は1割から3割に増え、保険料も上がる一方です。年金の保険料は倍増したのに、支給開始年齢は65歳へと先延ばしになりました。介護保険では「保険あって介護なし」の事態に加え、利用者の自己負担割合も増え続けています。教育や保育はどんどん民間に委託され、教育費は上がる一方です。待機児童数は減っていると言いますが、全員が希望した近所の保育園に入れるわけ

ではなく、両親が働きながらの子育ては全く余裕がありません。

消費税に頼らない税制に転換させましょう。大企業や富裕層を優遇する不公平な税制をただし、所得税や法人税を負担能力に応じて集めるしくみにかえれば53兆円を超える税収を生み出すことができると試算されています。

世界では110の国、地域が日本の消費税にあたる付加価値税を減税しています。ベトナムでは、2022年から実施した消費税減税によって景気が回復し、25年も減税措置を延長することを決めています。日本でも消費税の減税・廃止を実現させようではありませんか。

自公政権は防衛費拡大を強行し、25年度予算では史上初めて8兆円を超えました。この3年間で3兆円も引き上げられ、基地攻撃のための長距離ミサイルや戦闘機の購入をはじめ、全国でミサイル配備や弾薬庫建設が急速に進められています。税金は軍事費ではなく、暮らしに回せの声を一緒にあげましょう。

消費税を5%にすれば、1世帯平均年間12万円の減税になります。1回きりの給付金ではなく消費税減税を

消費税強行実施から 怒りの36年 宣伝行動

名だたる大企業は… **消費税導入後 消費税納税額 ず〜っと0円**

輸出で大儲けする大企業には、莫大な「消費税＝輸出還付金」が預金口座に振り込まれています。

例えば、トヨタ自動車の場合

売上高	消費税率	売上高の消費税額	国内での仕入れ・経費	消費税率	仕入等の消費税額	納税すべき消費税額 (A-B)
輸出販売 13兆6034億円	0%	0円	国内販売 4兆2855億円	10%	4285億円	4285億円
国内販売 4兆2855億円	10%	4285億円	仕入れ等 10兆3876億円	10%	10387億円	4285億円

(※) 消費税法上、輸出売上高には「ゼロ税率」が適用されます

納税すべき消費税額の計算式＝売上高の消費税額－仕入等の消費税額

大企業は自民党に献金し、消費税の導入と税率引き上げを求めてきました。

消費税減税！ インボイス廃止 署名にご協力ください

実施してもらいましょう。

いま、お願いしている署名は、消費税率5%以下への減税、インボイス制度の廃止を求める国会請願署名です。現在まで、立憲、共産、れいわ、国民、沖縄の風、社民など8会派に所属する51人の議員から紹介議員を引き受けると賛同が寄せられ、国会に消費税減税・インボイス廃止の声を届けています。

今国会では、物価高対策として消費税減税も議論されています。一度っきりの給付金ではなく、消費税減税、特に食料品の非課税を実現させましょう。

署名の力で世論と運動を広げ、消費税減税とインボイス廃止を実現させましょう。

最後に、総行動の総括会議を行いました。

延べ146人の参加、チラシは、3472枚を配布しました。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)

※ 皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

※ 千代田区労協通信バックナンバー／http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm

お知らせ

千代田区春闘共闘 労働学校

★第3回 2025年5月23日(金)

働く者はどうして団結しなければならないのか

労働組合はどのように生まれたか

資本主義の基本的な仕組みと労働組合 講師:江口健志(東京学習協常任理事)



★第4回 2025年6月27日(金)

「私の組合はジャンケンで役員を決める」?

労働組合と民主主義を考える

講師:黒澤幸一(全労連事務局長)



時間:18時30分開始 参加費:無料 場所:千代田区労協事務所

【共通タイムテーブル】

18:30～開校のあいさつ(5分)

18:35～労働組合よもや話

19:00～講義(60分)

20:00～休憩(10分)

20:10～質問(20分)

20:30 終了

★その後交流会

【参加申し込み先】

千代田区労協 及び 千代田区労連

〒101-0061

千代田区神田三崎町 2-19-8 杉山ビル2階

Tel:03-3264-2905

Mail:chiyodakurokyo@gmail.com

chiyororen@yahoo.co.jp

千代田区春闘共闘委員会主催・東京労働者学習協会協賛